

2019年9月10日 No. 303

〒530-0012 大阪市北区芝田 2丁目1番18号 (西阪急ビル9F)

・TEL 06-6375-9869 ・JR 071-7155

○発行責任者：新倉 実 ○編集責任者：鶴石 貢

メール登録：<http://wjru.com>



「JR西労組ダイレクトニュース」

世界一安全な鉄道会社を目指して



8月31日(土)、兵庫県尼崎市内にて「第1回ユーススタディ」を総勢78名の参加のもと開催しました。

初開催の今回は「安全」をテーマとし、福知山線列車事故ご被害者対応本部の方と、中央本部羽野書記長を語り部とした特別講話を実施しました。特別講話のあとには、昨年9月に整備が完了した「福知山線列車事故現場 祈りの杜」にて献花を捧げました。

特別講話では、事故当時、遺体安置所となった尼崎市記念公園総合体育館で担当された経験をお話いただき、改めて事故の悲惨さを感じることができました。

羽野書記長は当時、本社総支部の書記長として様々な対応をされた経験から、JR西労組のマスコミ対応についてや社員の心身のフォローを実施してきたことをお話いただきました。

特別講話や祈りの杜での献花を通じて感じたことなど、グループディスカッションで参加者のそれぞれの想いを共有しました。参加者からは、「青年女性委員会は全員が事故後入社であり、事故概念の見直しやヒューマンエラー非懲戒を当たり前だと考えている社員が多いが、事故の反省のうえに二度と事故を繰り返さないという会社の決意や、ご被害に遭われた方々の切実な想いが反映された取り組みであることを学べた」など、会社の研修とは違った視点の学習会の意義を大いに感じる事ができた様子でした。

また、労働災害にも思いを馳せ、グループ会社から始まった「確認ですが」の取り組みは、まだまだ現場に浸透していないため、組合役員が実践し根付かせていくことで、列車事故や労働災害を発生させない決意を固め合った。

